



## インフルエンザは沖縄が突出、全国ワースト コロナと同時流行が現実

沖縄県は6日、昨年12月26日～1月1日の1週間で県内の56定点医療機関から報告されたインフルエンザの患者数は554人で、1定点当たり9.89人だったと発表した。約3年ぶりとなる注意報の発令の基準「10人」に迫る勢いで急増し、1定点当たりでは全国ワーストとなった。前回公表分(昨年12月29～25日)の2.91人と比較すると約3.4倍。注意報の基準の10人以上となる地域も出始め、県内全域で広がりを見せている。懸念されていた新型コロナウイルスとの同時流行が現実となった。

沖縄タイムスプラス 2023年1月7日



県内でも流行してきていますが、本校でもインフルエンザにかかる生徒が出ています。朝からなんか調子が悪いと思ったら登校せず、早めにかかりつけ医へ相談し受診してください。

インフルエンザの主な症状としては、<sup>おかん けんたいかん</sup>悪寒、倦怠感、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて、のどの痛み、鼻汁、せきなどの症状も見られます。

これらの症状は通常2～3日続きますが、場合によっては5日を超えることもあります。

さらに、高齢者や乳幼児では<sup>はいえん のうえん</sup>肺炎や脳炎などを合併することもあり、最悪の場合は死に至ることもあります。

## 風邪、インフルエンザを予防する6つのポイント



外出するときはマスクをつける



外出のあとはうがい、手洗い



人ごみをさける



換気をする



部屋は温度と湿度に気をつける

















栄養と休養をじゅうぶんとる

## インフルエンザは出席停止です。

出席停止期間は、発症したのち(発熱の翌日を1日目として)5日を経過し、かつ、  
解熱後2日を経過するまでです。(学校保健安全法第19条)

\*インフルエンザの出席停止期間 早見表

	発症日 発症当日 0日目	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症後5日を経過した後	
							6日目	7日目
発症後 1日目に 解熱した 場合  出席 停止	発熱 	解熱 	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 4日目	発症後 5日目	登校 可能	
➔								
発症後 2日目に 解熱した 場合  出席 停止	発熱 	発熱 	解熱 	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 5日目	登校 可能	
➔								
発症後 3日目に 解熱した 場合  出席 停止	発熱 	発熱 	発熱 	解熱 	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校 可能	
➔								
発症後 4日目に 解熱した 場合  出席 停止	発熱 	発熱 	発熱 	発熱 	解熱 	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校 可能
➔								

新型コロナウイルス感染症は濃厚接触者に対する外出自粛を呼びかけていますが、インフルエンザに関しては定まったものではありません。そのため、家族がインフルエンザにかかったとしても、基本的には登校に影響はありません。